第９回びわ環サークル例会活動報告

講演会

課　　題	しが水環境ビジネスセミナー	
開催日時	平成 29 年 3 月 13 日（月曜日）曇り　　14：30～15：30	
場　　所	コラボしが２１　３階大会議室 （大津市）	
講　師 (話題提供)	水環境分野におけるビジネス支援策	滋賀県商工政策課山本直矢、滋賀県下水道課、淡海環境保全財団、JICA 関西国際センター、海外産業人材育成協会（HIDA）
	水環境ビジネスプロジェクトの報告	日本ソフト開発㈱、㈱環境総合テクノス、㈱日吉、滋賀県商工政策課竹内雅美
参加者	地域の参加者	84 名
	びわ環サークル事務局	青木豊明
	レイカディア大学	36 期　丸林浩二、服部清志、　37 期　川尻耕生、落合修一、39 期　阿部一広、井上俊道、兼行祐二、北田彌生、清田輝夫、小篠伸二、小西愼一、杉田薫、竹内拓、谷弥一郎、辻和夫、津田美佐子、寺澤孝之、中川直人、中場弘二、中村一馬、西木正枝、松村さかえ、百木義忠、一色実（記）24 名

１．はじめに

琵琶湖に関連した環境保全とそのビジネスへの取り組みについて、滋賀県商工観光労働部商工政策課に問い合わせたところ、今回のセミナー開催を案内頂き、在校生 39 期の自主活動の一環も兼ねて参加した。「しが水環境ビジネス推進フォーラム」は、水環境関連の産業・研究機関の集積や水環境保全の取組みを活かした水環境ビジネスの展開を図ることを目的に、産官学によるプラットフォームとして H25 に立ち上げられ、年二回のセミナーが開催されている。今回、第一部：水環境分野におけるビジネス支援、第二部：水環境ビジネスプロジェクトの報告、の発表講演が行われた。時間配分は 3 時間半説明、途中 10 分の休憩。

２．講演の要約

（１）第一部

滋賀県商工政策課山本直矢氏から、フォーラムの現状と今後の展開について講演

「琵琶湖モデル」を活かし、モノづくり県としての企業・行政・団体の相乗効果をシステムとして提供し、アジア中心にビジネス展開。DVD は営業宣伝色強し。

淡海環境プラザは下水道分野でのビジネス支援を紹介。矢橋のプラザ見学可能。

JICA、HIDA はシニアボランティア、専門家派遣の事例に興味。

（２）第二部

日本ソフト開発㈱から、滋賀県異分野・異業種連携イノベーション創出の事例発表があり、食品工場廃液の肥料への活用に向けた取組みが紹介された。コンポストステーションの活用や高速発酵研究等に興味。

JICA 草の根技術協力事業の活用プロジェクト「ベトナムカットバ島の水環境改善」は、滋賀県、㈱環境総合テクノス、㈱日吉がそれぞれ環境保全の施策、現地の自立活動、環境保全意識の分野で連携して効果を上げていることが紹介。

３．講演を聞いて感じたこと(びわ環・アンケート結果など)

・産官学の取り組みが分かったが、企業向けのため専門的過ぎた。

・このような他主催のセミナー等への参加は視野が広がるので参加したい。但し、テーマは琵琶湖に関するもの。

・今後の活動として、琵琶湖に関連した活動や身近な環境の活動を希望。

・「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」が H27 に施行されたことから、滋賀県の取り組みについて、琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課に纏まった話しを聞きたい。

写真１　：　滋賀県商工政策課フォーラムの説明

写真２　：　ベトナム・カットバ島水環境改善の説明